



191-1 その国では18歳以上の人には誰でも投票できる。

□□□ Anyone (w) () 18 years or older can vote in the country.

基本 Tip 「誰でも(先行詞)」と「18歳以上である」を関係代名詞でつなぐ。
「誰もが18歳以上である」ので、主格の関係代名詞を使う。

191-2 学習を楽しくする教育アプリがある。

□□□ There are educational apps learning fun.

基本 Tip 「教育アプリ(先行詞)」と「学習を楽しくする」を関係代名詞でつなぐ。
「アプリが学習を楽しくさせる」ので、主格の関係代名詞を使う。
make A fun 「Aを楽しくする」, learning 「学習」。

192-1 君が必要な情報はネットで見つけることができる。

□□□ You can find the online.

基本 Tip 「情報(先行詞)」と「君が必要とする」を関係代名詞でつなぐ。
「君が情報を必要とする」ので、目的格の関係代名詞を使う。

192-2 ヨーロッパにはいつか訪れたいたい国がたくさんある。

□□□ There are in Europe someday.

基本 Tip 「たくさんの国(先行詞)」と「私が訪れたいたい」をつなぐ。
「私はたくさんの国を訪れたいたい」ので、目的格の関係代名詞を使うが、目的格の関係代名詞はしばしば省略される。

File 28 関係代名詞のまとめ

先行詞	格	主格	目的格	所有格
人		who / that	* who / that	
人以外		that / which	that / which	whose

* 本来、who の目的格は whom であるが、限定用法ではあまり使われなくなってきたおり、代わりに who または that が使われる。また、目的格の関係代名詞は省略することが多い。

Words to Use make / need / would like to / visit

191-1 Anyone who is 18 years or older can vote in the country.

F 113 ▶ 関係詞は直前の名詞(先行詞)と直後の節(関係詞節)をつなぎ、名詞を修飾する。to不定詞や分詞の形容詞的用法も名詞を修飾するが、関係詞節はS'+V'が含まれる形容詞節をつくる。関係詞には、関係詞節の中で代名詞の働きをする関係代名詞と、副詞の働きをする関係副詞などがある。→ p.140 ②

▶ 主格の関係代名詞 who [that] を使った文。→ VI 20-p.8
問題文は人(anyone)が先行詞で、関係代名詞は主語の働きをしている。先行詞が「人」の場合、who を使うことが多い。anyone は単数扱い。

Anyone can vote in the country. + They are [He or she is] 18 years or older.

→ Anyone who [that] is 18 years or older can vote in the country.
人 主語の働き

○ 18 years (of age) or older 「18歳以上」

191-2 There are educational apps that [which] make learning fun.

F 113 F 116 ▶ 主格の関係代名詞 that [which] を使った文。人以外(apps)が先行詞で、関係代名詞は主語の働きをしている。先行詞が「人以外」の場合、that を使うことが多い。
There are educational apps. + They make learning fun.
→ There are educational apps that [which] make learning fun.

人以外 主語の働き

192-1 You can find the information (that [which]) you need online.

F 114 F 116 ▶ 目的格の関係代名詞 that [which] を使った文。人以外(the information)が先行詞で、関係代名詞は目的語の働きをしている(needの目的語の働き)。→ Grasp 12
You can find the information online. + You need it.
→ You can find the information (that [which]) you need online.

人以外 目的語の働き

192-2 There are many countries in Europe I would like to visit someday.

F 114 ▶ 目的格の関係代名詞は省略することが多い。... many countries in Europe (that [which]) I would like ... many countries を先行詞とする関係代名詞 that [which] が省略されている。in Europe が countries と I の間に挿入されている。
There are many countries in Europe. + I would like to visit them someday.
→ There are many countries in Europe (that [which]) I would like to visit someday.

省略可

Grasp 12 関係代名詞の目的格(先行詞が人の場合)

先行詞が人の場合、関係代名詞の目的格は who(m) [that] を使う。省略可。

The people were nice. + I met them in Korea.

→ The people (who(m) [that]) I met in Korea were nice.
人 目的語の働き

(私が韓国で出会った人々は親切だった。)

193-1 お兄さんがオーストラリアに留学している友達がいる。

I have () () () () is studying in Australia.

基本 **Tip** 「友達(先行詞)」と「お兄さんがオーストラリアで学んでいる」を関係代名詞でつなぐ。「友達のお兄さん」なので、所有格の関係代名詞を使う。

193-2 田舎では、戸が開いている家をよく見かける。

In the countryside, it is common to see () () () are open.

基本 **Tip** 「家=家々(先行詞)」と「戸が開いている」を関係代名詞でつなぐ。「家々の戸」なので、所有格の関係代名詞を使う。

193
194

194-1 君がノートパソコンを持ち運ぶバッグはどこ？

Where is the bag you carry your laptop?

Tip 「バッグ(先行詞)」と「君がノートパソコンを持ち運ぶ」を関係代名詞でつなぐ。ただし、もとになる文を考えたとき、you carry your laptop the bag では何かが足りていない。その足りていないものを補って考えると？

194-2 私にはいつも頼れる友達がいる。

I have a friend () () () always (c) ().

Tip 「友達(先行詞)」と「私がいつも頼りにしている」を関係代名詞でつなぐ。「友達に頼る」ので、目的格の関係代名詞を使う。句動詞の目的語が関係代名詞になるとき、句動詞の前置詞はどの位置に置く？

Self
Check

Words to Use  count on

193-1 I have a friend whose brother is studying in Australia.

F 115

▶ 所有格の関係代名詞は、先行詞が所有するものについて情報を加える場合に使う。先行詞が人か人以外かにかかわらず **whose** を使い、**whose + 名詞** の形にする。

I have a friend. + His [Her] brother is studying in Australia.

→ I have a friend **whose** brother is studying in Australia.

人 所有格

▶ 問題文は人(a friend)が先行詞。his [her] brotherがwhose brotherになる。

! 関係詞節が先行詞の名詞を限定(修飾)しているからと言って、× the friend になるとは限らない。話し手には複数の友達がいて、その中の1人の友達の兄がオーストラリアに留学しているということ。聞き手はその友達が誰かは特定できておらず、話し手と聞き手の共通認識はない。よって × the friend にはしない。

193-2 In the countryside, it is common to see houses whose doors are open.

F 115

▶ 先行詞が人以外の場合でも **whose** を使う。→ 193-1

It is common to see houses. + Their doors are open.

→ It is common to see houses **whose** doors are open.

人以外 所有格

= It is common to see houses with open doors.

▶ 問題文は、their doors(それらの戸[その家々の戸])だったものが whose doorsとなり、それが先行詞 houses の直後に置かれている。

194-1 Where is the bag in which you carry your laptop?

F 117 = Where is the bag (that [which]) you carry your laptop in?

▶ 関係代名詞が前置詞(in)の目的語になっている。問題文は、前置詞と関係代名詞をセットで前に置いた形。セットで置く場合、関係代名詞を省略することはできず、thatは使えない。2つめの文は関係代名詞を省略することも、thatを使うことも可能。

Where is the bag? + You carry your laptop in it.

→ Where is the bag in **which** you carry your laptop [].

省略不可 / that 不可

▶ 問題文は、carry your laptop in it の in it が in which となり、それが先行詞 the bag の直後に置かれている。前置詞を文末に残した2文めよりも硬い表現。

194-2 I have a friend who(m) I can always count on.

F 117

▶ 関係代名詞が前置詞(on)の目的語になっており、前置詞が後ろに残っている。**count on A** 「Aを頼りにする」などの句動詞はそのままで意味を持つので、前置詞を切り離さず後ろに残す。「人」が先行詞なので who が好まれる。

I have a friend. + I can always count on him [her].

→ I have a friend **(who(m)) [that]** I can always count on [].

省略可 / that も可 句動詞

▶ 問題文は、count on him [her] の him [her] が who / whom または that となり、それが先行詞 a friend の直後に置かれている。目的格なので省略可。

195-1 看護師である私の兄は、市立病院に勤務しています。

My brother _____ works at the city hospital.

基本

Tip 「看護師である(兄)」という情報を加えるが、先行詞は「私の(兄)」となっており、すでに「私の」で特定されている。すでに特定(限定)されている情報について追加の説明を加える関係代名詞の用法は? 限定用法? それとも非限定用法?

195-2 医療は誰もが必要とするものであり、それは基本的人権である。

Everyone needs medical care _____ a basic human right.

基本

Tip 「医療」について追加の説明を加える。関係代名詞は限定用法? それとも非限定用法?

196 多くの子どもがスマートフォンを使い過ぎており、そのことは彼らの健康に悪影響を及ぼすことがある。

Many children use their smartphones too much, () () () a negative impact on their health.

Tip Many children ~ too much という文について追加の説明を加えるには?

197 彼は電話に出ないかもしれないで、その場合はメッセージを残してください。

He may not answer the phone, () () () just leave a message.

発展

Tip 「~, そしてその場合…」を表す、関係形容詞を使った表現は?

198 男性が地図を持って観光客のグループに道案内をしており、観光客は全員、熱心に聞いている。

A man is holding a map and giving directions to a group of tourists, () () () are listening intently.

発展

Tip 「~, そして彼ら(観光客)は全員…」を表す、関係代名詞を使った表現は?

199 私たちは2つの解決策を試したが、どちらもうまくいかなかった。

We tried two solutions, () () () worked.

発展

Tip 「~, そのどちらも…ない」を表す、関係代名詞を使った表現は?

195-1 My brother, **who is a nurse**, works at the city hospital.

F 119

▶ 191から194で学んだ、名詞を修飾する用法を関係詞の**限定用法**と呼ぶ。195と196で学ぶのは追加の説明を加える用法で、これを関係詞の**非限定用法**と呼ぶ。非限定用法では関係詞の前にコンマを置く。→ Grasp 13-p.104
▶ 「私の兄」というすでに限定されている情報について追加の説明を加えるので、限定用法ではなく非限定用法の関係詞を使う。人(My brother)が先行詞の場合、非限定用法の関係代名詞は、主格の場合は**who**、目的格の場合は**who(m)**を使う。whomは硬い表現。

195-2 Everyone needs medical care, **which is** a basic human right.

▶ 関係代名詞の非限定用法。→ 195-1 人以外(medical care)が先行詞の場合、非限定用法の関係代名詞は**which**を使う。
⚠ 非限定用法がある関係代名詞は、who, whom, which, whose, thatに非限定用法はない。
□ **medical care / medical treatment** 「医療」

196 Many children use their smartphones too much, **which can have** a negative impact on their health.

▶ 関係代名詞**which**の非限定用法には、先行する主節の内容について追加の説明をし、「そしてそのことは～」を意味する用法もある。Many children ~ too muchまでの文全体が先行詞にあたる。
○ **have a negative impact on A** 「Aに悪影響を及ぼす」
↔ **have a positive impact on A** 「Aに好影響を及ぼす」

197 He may not answer the phone, **in which case** just leave a message.

▶ **in which case**で「そしてその場合は(= and in that case,)」を意味する。この**which**は〈which + 名詞〉の形で使われる**関係形容詞**。先行詞は主節の内容。
□ **~, in which case** ... 「~, そしてその場合は…」
⊕ **~, by which time** ... 「~, そしてその時までには…」

198 A man is holding a map and giving directions to a group of tourists, **all of whom** are listening intently.

▶ 〈~, whom ...〉の**whom**の前に all of がついた形。先行詞は a group of tourists。× all of who ... は誤り。→ 199
□ **~, all of whom** ... 「~, そして彼らは全員…」
□ **~, all of which** ... 「~, そしてそれらは全部…」 } = **and all of them** ...
○ **give A directions / give directions to A** 「Aに道を教える」
○ **listen intently** 「熱心に聞く」

199 We tried two solutions, **neither of which** worked.

▶ 〈~, which ...〉の**which**の前に neither of がついた形。先行詞は two solutions。× neither of who ... は誤り。
□ **~, neither of whom** ... } 「~, そのどちらも…ない」
□ **~, neither of which** ... } 「~, そのどちらも…ない」
▶ 行先詞が人の場合は whom を、人以外の場合は which を使う。この文の work は「うまくいく、成功する」の意味で使われている。

200-1 人々が安心して暮らせる社会をつくるなければならない。

□□□ We have to create a (s) () people can live in peace.

Tip 文中の「社会」の働きに着目すると、「社会で」人々が安心して暮らすということだとわかる。「社会で」は場所を表す副詞句で表現するから、使用する関係詞は何?

200-2 あれが昨日、この靴を購入した店だ。

□□□ That's the () () I bought these shoes yesterday.

Tip 「店で」この靴を購入したということなので関係副詞 where を使って表せるが、ここでは関係代名詞を使って、関係副詞と同じ意味を表してみよう。

201 彼女は私たちが座っている所へ走って来た。

□□□ She came running to () () () ().

Tip the place 「所」は、関係副詞の先行詞のとき、省略できる? できない?

202 行ったことのない国を訪れたい。

□□□ I want to visit a () () I have never been to.

Tip 「国(先行詞)」と「私が行ったことのない」を関係詞でつなぐ。後半が have never been to となっているから使うのは関係代名詞? それとも関係副詞?

200-1 We have to create a society where people can live in peace.

F 121 ▶ 関係副詞は節の中で副詞の働きをしている。関係副詞 where は場所を表す先行詞を修飾する。→ Grasp14

We have to create a society. + People can live in peace there [= in the society].

→ We have to create a society where people can live in peace [].

= We have to create a society in which people can live in peace [].

○ live in peace 「安心して暮らす、平和に暮らす」

200-2 That's the store [shop] at which I bought these shoes yesterday.

▶ 場所が先行詞の場合、前置詞 + which で関係副詞 where と同じ働きをする。

→ Grasp14

That's the store. + I bought these shoes there [= at the store] yesterday.

→ That's the store where I bought these shoes [] yesterday.

= That's the store at which I bought these shoes [] yesterday.

201 She came running to where we were sitting.

F 121 ▶ 関係副詞 where は先行詞を省略して使うこともある(the place の省略)。先行詞に the place を使うときは、関係副詞 where のほうを省略することもできる。

= She came running to the place (where) we were sitting.

202 I want to visit a country that [which] I have never been to.

▶ 行先が場所を表す語だからといって関係副詞 where を使うとは限らない。関係詞が節の中で代名詞の役割をする場合は関係代名詞 that [which] を使う。

I want to visit a country (that [which]) I have never been to [].
↑ I have never been to the country

= I want to visit a country where I have never been [].
↑ I have never been there

▶ × I have never been to there ではなく、○ I have never been to the country という関係。前置詞 to の後にくるのは副詞 (there) ではなく名詞 (the country) や代名詞。

○ have never been to A 「A(場所の名前) に一度も行ったことがない」

Grasp 13 関係詞の非限定用法

(1) Yesterday I met Sara. (昨日、サラに会った。)

(2) Yesterday I met Sara, who I hadn't seen in a long time. [非限定用法]
(昨日、サラに会った。彼女には長いこと会っていなかったけれど。)

✗ Yesterday I met Sara who I hadn't seen in a long time. [限定用法。誤り]

人名などの固有名詞には限定用法は使えない。Sara がどの人物かはすでに特定されており、限定する必要はない。もし限定用法を使うと、何人かいる Sara の中で「長いこと会っていなかったサラ」という意味になってしまふ。

Grasp 14 関係副詞の用法

関係副詞は、関係代名詞と同様に名詞(先行詞)を修飾して形容詞節を導くが、節の中で主語や目的語の働きをする関係代名詞とは違って、節の中で副詞の働きをする。また、関係代名詞 which を使って前置詞 + which で書きかえることもできる。

The hotel was wonderful. + We stayed there [= at the hotel].

→ The hotel where we stayed [] was wonderful.
副詞の働き
(私たちが滞在したホテルはすばらしかった。)
= The hotel at which we stayed [] was wonderful.
= The hotel (that [which]) we stayed at [] was wonderful.

203 私たちは正解のない時代に生きている。

We live in an () () there are no right answers.

Tip 「時代」は時を表す語句。時を表す先行詞を修飾する関係副詞は?

204-1 サッカーがそれほど多くの国で人気があるには十分な理由がある。

There are () (r) () soccer is popular in so many countries.

Tip 「理由」が先行詞くる関係副詞は?「十分な理由→正当な理由」と表現する。

204-2 サラは毎朝、オンライン英会話のレッスンを受けている。それで彼女は外国人観光客と流ちょうにコミュニケーションをとれる。

Sara takes online English conversation lessons every morning. () () she is able to communicate fluently with foreign tourists.

Tip 「それで→そういうわけで」を関係副詞を使って表すと?

205-1 文化の違いにより、人々のあいさつの仕方に違いがある。

There are differences in () (p) (g) each other in different cultures.

Tip 「人々のあいさつの仕方=人々があいさつを交わす方法」。

differences in the in は「~(ということ)において」の意味。

「文化の違いにより」は「異なる文化においては」(in different cultures)と表現されている。

205-2 誕生日には、みんなで特別な夕食をとる。これが我が家の誕生日の祝い方だ。

On birthdays, we have a special dinner together. () () () we celebrate them in our family.

Tip 「これが我が家の…の祝い方だ→このようにして私たちは家族で…を祝う」

File 29 関係副詞のまとめ

先行詞	場所を表す語	時を表す語	reason(s)	なし
関係副詞	where	when	why	how

203 We live in an **age** where there are no right answers.

F 122 ▶ 関係副詞 **when** は時を表す先行詞を修飾する。

We live in **an age**. + There are no right answers **in this age**.

→ We live in **an age when** there are no right answers [].

副詞の働き

= We live in **an age in which** there are no right answers [].

204-1 There are **good reasons why** soccer is popular in so many countries.

F 123 ▶ 関係副詞 **why** は reason(s) を先行詞とし、理由を表す節を導く。

There are **good reasons**. + Soccer is popular in so many countries **for the reasons**.

→ There are **good reasons why** soccer is popular in so many countries []? 副詞(句)の働き

= There are **good reasons for which** soccer is popular in so many countries []?

204-2 Sara takes online English conversation lessons every morning.

F 123 **That's why** she is able to communicate fluently with foreign tourists.

That's why ... 「そういうわけで…」 → Grasp15

▶ That's (the reason) why ... 「それが…の理由だ」の the reason が省略された形。

foreign tourist 「外国人観光客」

205-1 There are differences in **how people greet** each other in different cultures.

▶ 関係副詞 **how** は先行詞なしで使われ、「…する方法、…するやり方」という意味の名詞節を導く。= **the way (in which)**

= There are differences in **the way** people greet each other in different cultures.

= There are differences in **the way in which** people greet each other in different cultures.

greet each other 「あいさつを交わす」= **exchange greetings**

205-2 On birthdays, we have a special dinner together. **This is how** we celebrate them in our family.

F 124 **This is how** ... 「このようにして…」

Grasp 15 That's why ... と That's because ... の違い

~. **That's why** ... 「~。そういうわけで…」

... **That's because** ~ 「…。それは~だからだ」

(1) I had the flu. **That's why** I was absent last week. (私はインフルエンザにかかった。原因 → 結果 それで先週、休んでいた。)

(2) I was absent last week. **That's because** I had the flu.

結果 ← 原因
(私は先週、休んでいた。それはインフルエンザにかかっていたからだ。)

- 206** ケンはカフェ・ココで働いているのだが、そこはおいしいコーヒーをいれる。
 Ken works at Café Coco make great coffee.
Tip 「カフェで」に追加の説明を加えるとき、at Café Coco の代わりをする関係副詞は？
 「コーヒーをいれる」の主語（カフェの店員たち）を代名詞です。「店員たち」を表す代名詞は？

- 207** 私たちは2021年に愛犬のレオを迎えた。その年は三重に引っ越してきた年だった。
 We adopted our dog Leo in 2021, () moved to Mie.
Tip 「2021年に」に追加の説明を加えるとき、in 2021 の代わりをする関係副詞は？
 「三重に引っ越してきた」の主語は？

- 208-1** 重要なのは、すべての子どもたちに質の高い教育を提供することだ。
 ()() is providing quality education for all children.
基本 **Tip** 「重要なこと」を表す名詞節を主語にする。
 「～すること、～するもの」を表す、先行詞を含む関係代名詞は？
 「～は重要な」を表す自動詞は？

- 208-2** 探しているものをネットで見つけるのは簡単だ。
 It is easy to find online.
Tip 「あなたが探しているもの」という名詞節を、関係代名詞を使って表す。

- 208-3** 君が言ったことをずっと考えている。
 I've been thinking about
Tip 「君が言ったこと」という名詞節を、関係代名詞を使って表す。

- 209** 持っていたわずかなお金で、友達にささやかなプレゼントを買った。
 I bought a small gift for my friend with (money / I / little / had / what).
発展 **Tip** 「私が持っていた少しばかりのすべてのお金」は、関係形容詞 what を使って表す。

- 206** F 125
 Ken works at Café Coco, **where they** make great coffee.
 ▶ 関係代名詞に非限定用法があるように、関係副詞にも**非限定用法**がある。場所を表す語句(at Café Coco)が先行詞の場合、非限定用法の関係副詞は**where**を使う。「～、そしてその場所で…」(=～, and there ...)などの意味を表す。
 Ken works **at Café Coco**. + They make great coffee **there** [= **at Café Coco**].
 → Ken works **at Café Coco, where** they make great coffee [].
非限定用法

- 207** F 125
 We adopted our dog Leo in 2021, **when we** moved to Mie.
 ▶ 時を表す語句(in 2021)が先行詞の場合、非限定用法の関係副詞は**when**を使う。「～、そしてその時…」(=～, and then ...)などの意味を表す。
 We adopted our dog Leo **in 2021**. + We moved to Mie **then** [= **in 2021**].
 → We adopted our dog Leo **in 2021, when** we moved to Mie [].
非限定用法

- ❶ 非限定用法がある関係副詞は where と when のみ。why と how はない。
 adopt 「～を採用する、～を養子にする」

- 208-1** F 118
What matters is providing quality education for all children.
 ▶ **関係代名詞の what** は「～すること、～するもの」を表す。what は先行詞を含んでいるので、先行詞なしで使う。the thing(s) that [which] で書きかえられる場合が多い。what が導く節は名詞節だから、文全体の中で主語・目的語・補語・前置詞の目的語になる。関係代名詞 what 自体は名詞として扱われ、節の中で主語・目的語・補語・前置詞の目的語の働きをする。
 文の中で what 節が主語、節の中でも what は主語 (what matters)。
 matter ①名詞「問題、事柄」②動詞「重要である、問題となる」
 What matters is A 「重要なのは A、問題なのは A」
 provide B for A 「A(人)に B(必要なもの)を提供する[供給する]」
 quality education 「質の高い教育」
What this means is that ... 「この意味するところは…ということだ」

- 208-2** F 118
 It is easy to find **what you are looking for** online.
 ▶ 文の中で what 節は find の目的語、節の中では what は前置詞 for の目的語 (you are looking for what). → 208-1

- 208-3**
 I've been thinking about **what you said**.
 ▶ 文の中で what 節は前置詞 about の目的語、節の中で what は said の目的語 (you said what). → 208-1
 think about A / think of A 「A のことを考える」

- 209** F 130
 I bought a small gift for my friend with **what little money I had**.
 what A (+ S') + V' ... 「…するすべての A」
 ▶ この what は**関係形容詞**。後に名詞 A がきて、その後に S' + V' または V' を置く。

210-1 厳しいと思っていた先生がいたのだが、親切な先生だとわかった。

□□□ There was a teacher () () (t) was strict, but he turned out to be friendly.

Tip 「厳しいと(私が)思っていた先生」の下線部にあたる語句を挿入する。

210-2 人の話を聞くのは大切だが、最後は、自分がいちばんいいと思うことをやるしかない。

□□□ It is important to listen to others, but in the end, you have to do is best.

Tip 「自分がいちばんいいと思うこと」の下線部にあたる語句を挿入する。

211-1 皆さんの応援があったからこそ、今の私があるのだと思います。

□□□ Thanks to your support, I've become () () () today.

Tip 「今の私 → 今日の私であるもの」。「今」なのでbe動詞の時制は?

211-2 今日の日本は30年前とは違う。

□□□ Japan today is not (w) () () thirty years ago.

Tip 「30年前とは違う → 30年前の日本(の姿)ではない」と表現する。
「30年前」だからbe動詞の時制はどうなる?

212 私たちはいわゆる情報化時代に生きている。

□□□ We live in () () () the Information Age.

Tip 「いわゆる情報化時代」は「情報化時代と呼ばれるもの」と表現する。

213-1 本を読むのが好きだが、それは本が私を楽しませ、しかも新しいことを学べるからだ。

□□□ I like reading books because they entertain me, and () () (), I can learn new things.

Tip 「しかも → その上、さらに」。moreover や besides と同じ意味を表す表現。

213-2 私は映画に遅れてしまい、さらに悪いことに、財布を家に忘れてきた。

□□□ I was late for the movie, and () () (), I had left my wallet at home.

Tip bad 「悪い」の比較級を使った表現。時制に注意する。

210-1 There was a teacher **who I thought** was strict, but he turned out to be friendly.

F 130 ▶ 関係代名詞の直後に I think, I believe, I suppose などが続く場合がある。この形では、主格であっても関係代名詞を省略することがある。

There was **a teacher**. + **I thought** **he** was strict.

主格なので who になる

→ There was **a teacher** (**who**) **I thought** [] was strict.

○ **strict** 「厳格な」

○ **turn out (to be)** + C 「C(である)とわかる、C(である)と判明する」

210-2 It is important to listen to others, but in the end, you have to do **what you think** is best.

You have to do **what** is best. (最善のことをしなければならない。)

→ You have to do **what you think** is best. [what は関係代名詞]
(あなたが思う最善のことをしなければならない。)

○ **in the end** 「最終的に」

211-1 Thanks to your support, I've become **what I am** today.

□ **what S is** 「今のS(の姿)」

▶ 関係詞節の中で what は補語の働きをしている。

211-2 Japan today is not **what it was** thirty years ago.

□ **what S was [were]** } 「以前のS(の姿), かつてのS(の姿)」
what S used to be

⊕ **what S will be** 「将来のS(の姿), 未来のS(の姿)」

⊕ **what S should be** 「Sのあるべき姿」

212 We live in **what is called** the Information Age.

□ **what is called A** } 「いわゆるA」
what we [they, you] call A

○ **the Information Age** 「情報化時代」

213-1 I like reading books because they entertain me, and **what is more**, I can learn new things.

□ **what is more** 「その上、さらに」 = **moreover** = **besides**

⊕ **what is more important** 「さらに重要なことに」

213-2 I was late for the movie, and **what was worse**, I had left my wallet at home.

□ **what is worse** 「さらに悪いことに」 = **to make matters worse**

▶ 主節の動詞が過去形なので what was worse となる。副詞句として副詞の働きをする。文と文をつなぐことはできないので、つなぐときは and が必要。

○ **leave A at home** 「Aを家に忘れる」

214 ケンにはよくあることだが、彼はミーティングに遅刻した。

□□□ Ken was late for the meeting, (with / the / often / case / is / as) him.

Tip 「～にはよくあることだが」を表す定型表現を、主節の後に置いた文。
「ケンはミーティングに遅刻した、彼にはよくあることだが」と表現する。

215 ソーシャルメディアはあなたと同じ趣味を持つ人を見つけるのに役立つ。

□□□ Social media can help you find people who have **the**
発展

Tip 関係代名詞の as を使った表現。as の後に S'(+V') を続ける。

216 今、私たちが保護できないほど多くの、絶滅の危機に瀕した動物がいる。

□□□ There are (endangered animals / protect / than / we / more / can) now.
発展

Tip 「保護できないほど多くの = 保護できるよりも多くの～」と表現する。
than の後に S'+V' を続ける。than 以下の節が直前の名詞を修飾する。

217 地域で助けを必要としている人は誰でも助けることが大切だ。

□□□ It is important to help () (i) () () in our community.

Tip 「～する人は誰でも」を、先行詞を含む関係代名詞で表すと?
「助けを必要としている」は「必要(窮地)の中にいる」と表現できる。

218-1 一人旅では、したいことが何でもできる。

□□□ When you travel alone, you can do () () (w) .

Tip 「したいことが何でも → 望むことは何でも」
「～するものは何でも」を、先行詞を含む関係代名詞で表すと?

218-2 何があっても、ずっと君の味方でいるよ。

□□□ I'll always be there for you, () (h) .

Tip 先行詞を含む関係代名詞を使って「何が起こっても」を表す副詞節をつくる。

218-3 誰が何と言おうと、私は決してあきらめない。

□□□ I'll never give up, (n) () () (a) (s) .

Tip 副詞節を導く whatever と同じ意味を表す表現を使ってみよう。

214 Ken was late for the meeting, **as is often the case with** him.

► 関係代名詞 as の非限定用法。「…だが、…のように」を意味する。先行詞は主節の内容。先行詞が後につくこともある。

= **As is [was] often the case with** him, Ken was late for the meeting.

□ **as is often the case (with A)** 「(A には)よくあることだが」

⊕ **as is usual (with A)** 「(A には)いつものことだが」

215 Social media can help you find people who have **the same hobbies as you (do)**.

► 関係代名詞 as の限定用法。先行詞は the same A。

□ **the same A as ...** 「…するのと同じ A」—the を省略しない。× same A as ...

⊕ **much the same A as B** 「B とほぼ同じ A」

⊕ **such A as ...** 「…するような A」

⊕ **as many [much] A as ...** 「…するのと同じ数[同じ量]の A」 ➡ 277, 278

216 There are **more endangered animals than we can protect** now.

► than を関係代名詞的に使う。more A が先行詞にあたる。

□ **more A than ...** 「…する以上の A, …できないほど多くの A」

○ **endangered animal** 「絶滅の危機に瀕した動物」

○ **protect** 「～を保護する」

217 It is important to help **whoever is in need** in our community.

► 関係代名詞に -ever が付いた **whoever, whatever, whichever** を複合関係代名詞と呼ぶ。anyone や anything などの先行詞を含む表現。➡ File30-p.114

□ **whoever ...** 「…する人は誰でも」= anyone who ...

► 名詞節を導く whoever. whoever 以下が動詞 help の目的語になっている。whoever は単数扱いする。

○ **be in need** 「助け[食料, お金]を必要としている」= need help [food, money]

218-1 When you travel alone, you can do **whatever you want**.

F 126 □ **whatever** ... 「…するものは何でも」= anything that ...

► 名詞節を導く whatever. whatever 以下が動詞 do の目的語。

○ **travel alone** 「一人旅をする」

218-2 I'll always be there for you, **whatever happens**.

F 127 □ **whatever** ... 「何が[を]…しようとも」= no matter what ...

► 副詞節を導く whatever. whatever 以下は主節を修飾する副詞節。whatever は単数扱いする。

○ **be there for you** 「あなたの味方でいる」 ⇌ 「あなたのためにそこにいる」

218-3 I'll never give up, **no matter what anyone says**.

□ **no matter what** ... 「何が[を]…しようとも」= whatever ...

► 副詞節を導く no matter what ...は、whatever と同じ意味を表す。

219 君がどちらのルートをとっても、30分かかるだろう。

(W) (r) () (), it will take you 30 minutes.

Tip 〈複合関係形容詞+名詞〉を使って副詞節をつくる。

220 リラックスしたい時はいつも好きな音楽を聴く。

I listen to my favorite music () () () relax.

Tip 「…する時はいつも」を表す複合関係副詞を使って副詞節をつくる。

221-1 スマートフォンはとても軽いので、どこへ行くにも持ち運べる。

You can take a smartphone with you (w) () () because it is very light.

Tip 「…する所はどこへでも」を表す複合関係副詞を使って副詞節をつくる。

221-2 日本のどこへ行っても、お寺や神社が見つかるでしょう。

(W) () (i) (), you will find temples and shrines.

Tip 「どこへ…しようと」を表す複合関係副詞を使って副詞節をつくる。

222-1 どんなに時間がかかるっても、私たちはその問題を解決しなければならない。

() (I) () (), we have to solve the problem.

Tip 「どんなに…でも」を表す複合関係副詞を使って副詞節をつくる。
「時間がかかる」を表す表現は？

222-2 どんなに頑張っても、この数学の問題は解けそうにない。

(N) () (h) (t), I can't seem to solve this math problem.

Tip 副詞節を導く howeverと同じ意味を表す表現を使ってみよう。

File 30 複合関係代名詞のまとめ

複合関係代名詞	意味	主な書きかえ
<input type="checkbox"/> whoever ...	名詞節「…する人は誰でも」	anyone who ...
	副詞節「誰が[を]…しようと」	no matter who ...
<input type="checkbox"/> whichever ...	名詞節「…するものはどれでも」	any one that ...
	副詞節「どちらが[を]…しようと」	no matter which ...
<input type="checkbox"/> whatever ...	名詞節「…するものは何でも」	anything that ...
	副詞節「何が[を]…しようと」	no matter what ...

* whicheverとwhateverには複合関係形容詞の用法もある。→ 219

〈whichever+A(名詞) ...〉〈whatever+A(名詞) ...〉の形になる。

Words to Use  route / take / hard / try

219 **Whichever route you take**, it will take you 30 minutes.

whichever A ... 「どちらの A が[を]…しようと」 = **no matter which** A ...

▶ 副詞節を導く whichever。ここでは名詞 route を修飾する**複合関係形容詞**。結果的に「君」が選ぶのは1つのルートなので単数形の route を使う。

220 I listen to my favorite music **whenever I want to** relax.

F 128 ▶ 関係副詞に -ever が付いた **whenever**, **wherever**, **however** を**複合関係副詞**と呼ぶ。副詞節を導く。→ File 31

whenever ... { ①「…する時はいつでも」 = **anytime** ...
②「いつ…しようと」 = **no matter when** ...

▶ whenever は副詞節を導く。

221-1 You can take a smartphone with you **wherever you go** because it is very light.

wherever ... { ①「…する所はどこへでも」 = **anywhere** ...
②「どこへ…しようと」 = **no matter where** ...

▶ wherever は副詞節を導く。この文では「…する所はどこへでも」の意味。

221-2 **Wherever you go in Japan**, you will find temples and shrines.

F 129 ▶ wherever は副詞節を導く。この文では「どこへ…しようと」の意味。→ 221-1
○ **temples and shrines** 「お寺と神社、寺社」

222-1 **However long it takes**, we have to solve the problem.

F 129 **however** + 形容詞 [副詞] ... 「どんなに…でも」
= **no matter how** + 形容詞 [副詞] ...

▶ however は副詞節を導き、譲歩の意味を表す。× However it takes long,

○ **it takes long (to do)** 「(~するのに) 時間がかかる」

222-2 **No matter how hard I try**, I can't seem to solve this math problem.

= **However hard I try**, I can't seem to solve this math problem.

no matter how + 形容詞 [副詞] ... 「どんなに…でも」
= **however** + 形容詞 [副詞] ...

▶ no matter how は副詞節を導き、譲歩の意味を表す。

○ **try hard** 「懸命にやる、頑張る」

○ **can't seem to do** 「~できそうにない」

File 31 複合関係副詞のまとめ

複合関係副詞	意味(すべて副詞節)	主な書きかえ
<input type="checkbox"/> whenever ...	「…する時はいつでも」	any time ...
	「いつ…しようと」 [譲歩]	no matter when ...
<input type="checkbox"/> wherever ...	「…する所はどこへ[で]でも」	anywhere ... (前置詞+) any place ...
	「どこへ[で]…しようと」 [譲歩]	no matter where ...
<input type="checkbox"/> however + 形容詞 [副詞] ...	「どんなに…でも」 [譲歩]	no matter how + 形容詞 [副詞] ...